

第1学年国語科学習指導案

日時 平成17年10月12日(水) 授業1
学級 1年2組 男子15名 女子15名 計30名
場所 1年2組教室
授業者 教諭 面代 瑠理子

1 単元名 くらべてよもう 「じどう車くらべ」 (光村図書)

2 単元について

(1) 教材観

第1学年及び第2学年における「C読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書をしようとする態度を育てる。」ことである。第1学年及び第2学年の読みの力は、書かれていることの大体をとらえることが基礎となる。そのためには、まず順序に従って内容を押さえたり、場面の様子に気付きながら読み取ったりすることが必要になる。本教材「じどう車くらべ」では、「仕事と作り」という2つの事柄の因果関係を考える」ことを「書かれている事柄の順序に気付く」ことととらえた。

本教材「じどう車くらべ」では、この時期の児童の一番好きな題材を取り上げ、主体的な理解表現活動を促す教材構成になっている。また、この文章では、自動車の機能と構造を関連付けて考えるように書かれている。条件や理由を表す言葉を用いて表現することにより、いっそう機能と構造の関連を明確にさせることができ、関係認識の初歩的な指導に適している。児童の興味関心を生かし、読書活動に結び付けて、調べたり表現したりする活動へも発展させたい。

(2) 児童観

1学期は、平仮名、長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「を」「へ」の使い方、主語述語の入った一文を書くという学習をしてきた。平仮名で書かれてある言葉や文を正しく読むことができるようになり、読書をすることに喜びを感じている児童が多い。2学期になって、漢字の学習が加わり、本教材「自動車くらべ」では片仮名が登場する。まだ平仮名を正しく書くことができない児童もいれば、まだ学習していない片仮名や漢字も読み書きできる児童もあり、言語事項に関する学力の個人差は大きい。

音読は、1学期から毎日家庭学習として継続して取り組んでいる。授業中は、一人読みや一斉読み、リレー読みや役割読みなど様々な形態での音読を取り入れて学習してきた。しかし、書かれてあることを声に出して読んではいるが、文をまとまりとしてとらえられず、内容や言葉の意味を理解して読むことができない児童もあり、書かれてあることを正しく豊かに読み取る力の個人差は大きい。

入学して初めて出会った説明文「いろいろなくちばし」では、挿絵を手掛かりにして、鳥のくちばしの特徴を正しく読み取るとともに、説明文の基本的なパターンである問いと答えの文型を学んだ。さらに、いろいろな鳥のくちばしの形を自分の言葉で表現して鳥のくちばしクイズを作り、クイズ大会を楽しむことができた。本単元は、児童の身近にある自動車を取り上げた説明文であり、児童の自動車に対する興味・関心は大変強いものと思われる。「いろいろなくちばし」では、問いと答えが書かれてある文章を読み、その文章形態を基にして、くちばしクイズ大会を楽しく行った。今回の「じどう車くらべ」も同様に、興味をもちながら読み進めたり、自動車クイズをしたりするであろうと思われる。

(3) 指導観

「じどう車くらべ」は、児童にとって身近で比較的興味・関心の高い自動車を取り上げた説明文である。どの児童にも自動車に興味をもたせるために、教室に図書コーナーを作り、いつでも読めるようにしておきたいと考える。

本教材は、自動車の話題を述べ、問題を提起した後、問題に対する説明を自動車の仕事と作りという事柄の因果関係で述べる形で書かれてある。児童には、自動車の仕事と作りの関係を考えさせながら読み進めるといった視点をもたせたい。

児童は、本教材を通して、楽しく説明文の読み方を体得するとともに、挿絵を手掛かりにして言葉の意味を考え、確かめながら読み進めていく過程で、より確かな言語理解の力を身に付けることができると期待される。そのために、挿絵に着目させるような発問をしたり、挿絵と書かれてある文や言葉を結び付けさせながら読ませていきたいと考える。それぞれの自動車と比較をさせる活動を取り入れ、比べながら読むという読み方も身に付けさせたい。

また、自分で自動車について、本を読んで調べたり人に聞いたりしながら情報を集めるなど、調べたり表現したりする活動へも発展させたい。そのために、本教材で学習した自動車の仕事と作りの関係を説明する文章形態を生かし、自動車クイズを作る活動を行いたい。そして、自分の言葉で自動車の部分の形や特徴を言い表すことができるような、主体的な言語表現活動を促していきたいと考える。

3 単元の目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
国語への関心・意欲 ・態度	自動車の仕事や作りに興味をもって、楽しみながら自動車クイズをしようとする。	・自動車の仕事や作りに興味をもって文章を読み、意欲的に自動車クイズを作ろうとしている。
書くこと	教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書くことができる。	・自分の好きな自動車について仕事と作りを明らかにしながら、自動車クイズを書いている。
読むこと	三種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読むことができる。 語や文としてのまとまりを考えながら、声に出して読むことができる。 乗り物の本などに興味を持ち、探して読むことができる。	・三種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながらそれぞれの部分に書かれてある事柄を読んでいる。 ・仕事と作りのまとまりを考えながら、声に出して読んでいる。 ・乗り物の本などに興味を持ち、探して読んでいる。
言語事項	片仮名で書く語を読んだり書いたりすることができる。	・片仮名を正しく読んだり書いたりしている。

4 単元の指導・評価計画（11時間扱い）

段階	時間	目 標	主な学習活動 ・学習活動 ・主な支援の手立て	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)	具体的評価規準		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て
					A:十分満足できると判断する視点	B:概ね満足できると判断する視点	
とらえる	1	教材文を読み、自動車クイズを作るといふ学習活動について知ることができる。	これからどんながくしゅうをするかをしよう。 ・知っている自動車について自由に発表する。 ・挿し絵を見ながらどんな自動車が出てくるかを知り、教材文を読む。 ・自動車クイズを作ることを知り、問いと答えの文の構成に気付き作り方を理解する。 「いろいろなくちばし」の学習を想起させ、自動車クイズのイメージをつかませる。	教材文に興味をもち、自動車クイズを作ろうとしている。 【関心・意欲・態度】 (観察・振り返り)	知っている自動車について自由に発言し、意欲的にクイズ作りをしようとしている。	知っている自動車の名前を挙げ、クイズ作りに関心をもってしている。	自動車が載っている本を紹介し興味をもたせる。
	2	筆者の観点到気付くことができる。	ひっしゃがじどう車のどんなところをみているかみつけよう。 ・筆者が自動車のどんなところを見ているのかを知り、読み取りの視点をつかませる。 ・新出の漢字や片仮名を読んだり書いたりする。 仕事と作りをpushさせさせる。	「仕事」と「作り」の2つの観点到気付いている。 新出の漢字や片仮名を読んだり書いたりしている。 【読むこと・言語事項】 (観察・ワークシート・ノート)	自分たちがあげた車の説明と筆者の観点的に気付き、「仕事」と「作り」の観点が分かっている。 新出の漢字や片仮名を読んだり、書いたりしている。	「仕事」と「作り」の2つの観点が分かっている。 新出の漢字や片仮名を読んだり、書いたりしている。	全文に着目させ、問いの文に気付かせる。 新出の漢字や片仮名を教師と一緒に読み書きさせる。
ふかめる	3	挿絵を手掛かりにしてバス・乗用車の仕事と作りを読み取ることができる。	バスやじょうよう車のつくりはどうなっているのだろう。 ・バスや乗用車の仕事と作りの二つのまとまりがあることに気付く。 ・前文とバスや乗用車の文を対比させながら三文の内容をしっかりと読み取らせる。 挿絵を手掛かりに作りを見付け	バスや乗用車の仕事と作りを関連付けて読み、作りを読み取っている。 【読むこと】 (観察・ワークシート)	バスや乗用車の仕事と作りを関連付けて読み、様子や理由を交えて作りを読み取っている。	バスや乗用車の仕事と作りを関連付けて読み、作りを読み取っている。	仕事と作りの関連に気付かせ、教師と一緒にまとめさせる。

		させる。					
	4	挿絵を手掛かりにしたり、バスや乗用車と比較したりすることによって、トラックの仕事と作りを読み取ることができる。	トラックのつくりはどうなっているのだろう。 ・トラックの仕事を読み取る。 ・バスや乗用車とトラックを比べ、作りの違いは、仕事の違いとつながっていることを知る。 ・仕事と作りの関連を知り、「そのために」という言葉の役目を理解する。 挿絵を手掛かりに、仕事と作りに気付かせ、比較を通して読み取らせる。	トラックの仕事と作りを関連付けて読み、作りを読み取っている。 【読むこと】 (観察・ワークシート)	トラックの仕事と作りを関連付けて読み、様子や理由を交えて作りを読み取っている。	トラックの仕事と作りを関連付けて読み、作りを読み取っている。	仕事と作りの関連に気付かせ、教師と一緒にまとめさせる。
	5	挿絵を手掛かりにしたり、バスや乗用車・トラックと比較したりすることによって、クレーン車の仕事と作りを読み取ることができる。	クレーン車のつくりは、どうなっているだろう。 ・クレーン車の仕事を乗用車やトラックの仕事と比較しながら読み取る。 ・クレーン車の作りについて読み取る。 挿絵を手掛かりに、仕事と作りに気付かせ、比較を通して読み取らせる。	クレーン車の仕事と作りを関連付けて読み、作りを読み取っている。 【読むこと】 (発言・ワークシート)	クレーン車の仕事と作りを関連付けて読み、様子や理由を交えて作り読み取っている。	クレーン車の仕事と作りを関連付けて読み、作りを読み取っている。	仕事と作りの関連に気付かせ、教師と一緒にまとめさせる。
ひろげる	6	はしご車の仕事と作りについての話し合いを通して、クイズを作ることができる。	はしご車クイズをつくろう。 ・はしご車の仕事と作りについて話し合う。 ・クイズの書き方を理解する。 話し合いを生かして、クイズを作らせる。	はしご車の仕事と作りを関連させて、クイズ文を書いている。 【書くこと】 (観察・学習シート)	はしご車の仕事と作りを関連させて、分かりやすくクイズ文を書いている。	はしご車の仕事と作りを関連させて、クイズ文を書いている。	はしご車の仕事と作りを教え、教師と一緒にクイズ文を書かせる。
	7	自動車の本を読んで、クイズを作りたい自動車を決めることができる。	クイズをつくりたいじどう車をえらぼう。 ・学級文庫や図書館で自動車の本を探して読む。 ・好きな自動車を選び、仕事と作りを読み取る。 じっくり時間をかけて本を読ませ、クイズを作りたい自動車を自己決定させる。	本を選んで読み、クイズを作りたい自動車を決めている。 【関心・意欲・態度】 (観察・ワークシート)	本を選んで読み、クイズを作りたい自動車を決めて、仕事と作りを詳しく読み取っている。	本を選んで読み、クイズを作りたい自動車を決めている。	本を教師と一緒に選び、読ませ、クイズを作りたい自動車を決めさせる。
	9	いろいろな自動車の仕事と作りをふまえて、クイズを作ることができる。	じぶんの好きな車のクイズをつくろう。 ・選んだ自動車について、仕事や作りなどの説明の文を書く。 個人差があるので、早く終わった児童には説明を詳しく書かせたり、次の車のクイズを作らせる。	自分の好きな自動車の仕事と作りを関連させて、クイズ文を書いている。 【書くこと】 (観察・学習シート)	自分の好きな自動車の仕事と作りを関連させて分かりやすくクイズ文を書いている。	自分の好きな自動車の仕事と作りを関連させてクイズ文を書いている。	仕事と作りを教師と一緒に考え、クイズの文型を参考にしながら書かせる。
チャ	10	出来上がった自動車クイズを発表し合いながら達成感を味わうことができる。	じどう車クイズ大会をしよう。 ・完成したクイズを出し合う。 ・友達のクイズのよい点を話し合う。 相互評価により友達のよさを知ったり、クイズ完成の達成感を味わわせる。	友達の作ったクイズの良いところや面白さを見つけようとする。 【関心・意欲・態度】 (観察・発表)	自分のクイズと比べながら友達のクイズのよいところやおもしろいところを見つけ、発表しようとする。	友達の作ったクイズの良いところや面白さを見つけようとする。	自分のクイズと似ているところや違うところを見つけさせる。
	11						

5 本時の指導(5 / 11)【モデル学習】

(1) 目標

挿絵を手掛かりにしたり、バスや乗用車・トラックと比較したりすることによって、クレーン車の仕事と作りを、読み取ることができる。

(2) 本時の指導にあたって

本時は、クレーン車の仕事と作りについて読み取る場面である。前時までにバスや乗用車、トラックの仕事と作りについて読み取りを行っているが、それぞれの車の着目すべき作りは異なっている。よって、挿絵を手掛かりにさせたり、他の車と比較させたりすることを通して、クレーン車のもつ特徴的な作り気付かせながら、書かれてある事柄を豊かに読み取らせたい。また、接続語「そのために」の役割を考えさせることを通して、仕事と作りには関係があるのだということを理解させたい。

(3) 展開

段階	学習内容・学習活動	支援の手立てと評価の観点	準備・資料
とらえる5分	<p>1 学習内容と学習課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者のいう仕事と作りの2つの観点を確認する。 ・バスや乗用車・トラックの仕事と作りを確認する。 <p>クレーン車のつくりは、どうなっているだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の問いかけの文や、バスや乗用車やトラックの仕事と作りを確認することによって、前時までの学習をしっかりと想起させる。 ・クレーン車の拡大図を見せながら、クレーン車に興味をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの紙板書 ・クレーン車の拡大図
たしかめる10分	<p>2 課題解決のための見通しをもち、本時の学習範囲を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車の意味段落を音読する。 ・クレーン車の仕事を確認する。 ・「そのために」という言葉をおさえる。 <p>3 自分の力で学習課題の解決を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車の作りをとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と作りはどうなっているかという筆者の問いかけを、読みの視点として、答えが書かれてあるところを見つけさせながら指名音読させる。 ・「そのために」という接続語に注目させることにより、仕事によって車の作りが違うという、仕事と作りの関係を想起させたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
学び合い15分	<p>4 読み取ったことを基に話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車の仕事と作りの関係について、みんなで話し合い読み深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車の挿絵を見せながら、クレーン車のうでやあしが、どの部分なのかを確かめながら読ませる。 ・「じょうぶな」「のびたりうごいたり」という言葉を取り上げ、重いものをつり上げる仕事との関係を理解させながら読ませる。 ・「かたむかないように」という言葉を取り上げ、重いものをつり上げる仕事との関係を理解させながら読ませる。 ・他の車との類似点や相違点を見比べさせることによって、クレーン車の仕事と作りの関係を確かめさせる。 	
25分	<p>5 学習課題をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに、クレーン車の仕事と作りについてまとめを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車になりきって作りを自慢する文を書かせることによって、読み取ったことをまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート

ま と め る	【評価規準Bの例】	【評価規準（読むこと）】 クレーン車の仕事と作りについて読み取っている。 (評価方法：ワークシート・観察)		
	ぼくは、クレーン車です。 おもいものをつりあげるしごと をしているよ。 そのために、じょうぶなうでが ついているよ。しっかりしたあし がついているよ。	具体の評価規準		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て
		A	B	
		クレーン車の仕事と作りを関連付けて読み、様子や理由を交えて作りを読み取っている。	クレーン車の仕事と作りを関連付けて読み、作りを読み取っている。	仕事と作りの関連に気付かせ、教師と一緒にまとめさせる。
15分	6 本時の学習範囲についてまとめの音読をする。 7 本時の自己評価を行う。	・クレーン車の仕事と作りの関連に気を付けさせて、一斉音読をさせる。 ・本時の学習について振り返らせる。		
				・ワークシート

(4) 板書計画

よ。しっかりとあしが ついでが、のびたりうごいたりするよ。

しっかりとあしが ついでが、のびたりうごいたりするよ。

しっかりとあしが ついでが、のびたりうごいたりするよ。

【どんなつくりになつてくか】

そのために、

つりあげる

しごとをしているよ。

【どんな】

ぼくは、クレーン車です。

おもいものを

つりあげる

しごとをしているよ。

クレーン車の図

そのために

つりあげる

きい鉄

し

しごと

おもいものを

【どんなつくりになつてくか】

そのために、

つりあげる

しごとをしているよ。

【どんな】

ぼくは、クレーン車です。

おもいものを

つりあげる

しごとをしているよ。

【どんなつくりになつてくか】

そのために、

つりあげる

しごとをしているよ。

6 教材分析表

要旨	いろいろな自動車が道路を走っている。それぞれの自動車は、それぞれの仕事に合った作りをもっている。			
意味段落	問題提示	バス・乗用車	トラック	クレーン車
小見出し	いろいろなじどう車	バス・じょうよう車	トラック	クレーン車
仕事		人をのせてはこぶしごと	にもつをはこぶしごと	おもいものをつりあげるしごと
作り		ざせきのところがひろくつくってある 大きなまどがたくさんある	ひろいにだいになっている タイヤがたくさんついている	じょうぶなうでがのびたりうごいたりする しっかりとあしが ついでが、のびたりうごいたりする
重要語句	<ul style="list-style-type: none"> ・じどう車 ・しごと ・つくり ・そのために 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとはこぶ ・ざせき ・ひろく ・大きなまど 	<ul style="list-style-type: none"> ・もをはこぶ ・ひろいにだい ・タイヤ ・たくさん 	<ul style="list-style-type: none"> ・つりあげる ・じょうぶなうで ・しっかりとあし